

本日、ここに平成23年第2回市議会臨時会が開会されるにあたり、最近の市政の状況と提案いたしました条例案につきまして、その大要をご説明申し上げます。

はじめに、市内文化協会の合併についてであります。

今月3日、関係各位のご尽力のもと、市内8地域の文化協会が合併し、白山市文化協会が誕生いたしましたことは、誠にご同慶に堪えないところであります。

これからは、各地域の文化交流活動が一層促進され、さらなる融和と一体感の醸成が図られるものと大きな期待を寄せております。

次に、全日本菊花連盟全国大会白山大会についてであります。

今月11日から13日までの開催期間において、全国の菊愛好家が丹精込めた約3,000点の菊花が出品され、延べ8,000人の観客が来場されるなど、盛会裡に終了することが出来ました。ここに大会にご尽力いただきました関係各位に心よりお礼を申し上げます。

また、開催期間中は、約300人の方々が市内に宿泊され、地元の活性化にも一役買ったところであります。

今後とも、各種全国大会等の誘致に努め、白山市の知名度アップと地域の活性化につなげてまいりたいと考えております。

次に、雪害対策についてであります。

本市の象徴であります白山の峰々は、新雪に覆われ、荘厳な勇姿を見せております。

こうした中、去る11日には白山市防災会議を開催し、国・県並びに関係機関との連携体制を確立するとともに、本年1月から2月にかけての大雪を教訓として、パトロールの強化や屋根雪下ろしの指導、一斉除雪の要請などについて、よりきめ細かな対策を講ずるよう確認したところであります。地域全体で降雪に取

り組む体制づくりに努めていくことといたしております。

また、昭和45年の旧松任市以来、41年ぶりの単独市制として同日、野々市市が県内11番目の市として新たなスタートを切ったことにつきまして、改めてお祝いを申し上げる次第であります。

これからも、広域行政としての消防事業やごみ処理、病院事業など広域事務組合、医療企業団等での連携はもとより、北陸新幹線金沢開業を控え、公共交通のさらなる利便性の向上や、北陸鉄道石川線の存続等の問題についても、より一層の連携強化を図ってまいりたいと考えております。

それでは、提案いたしました条例案につきまして、ご説明申し上げます。

「白山市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」につきましては、平成23年人事院勧告に準拠して、給料月額引下げ等の改正を行うものであります。

主な内容としましては、50歳代で最大0.5%、40歳代で最大0.4%の引下げを行い、4月から11月までの差額分につきましては、12月支給の期末手当において調整することとし、条例改正に係る議会の議決を求めます。

以上をもちまして、今臨時会に提出いたしました議案の説明を終わりますが、何卒慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます。